

電気給湯機用 負圧作動弁付逃し弁

形名

GT-T40F

※電気温水器専用






適用機種は、当社カタログ・給湯機の据付工事説明書等に記載してあります。

据付工事説明書 販売店・工事店様用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために正しい工事が必要です。
工事の前に、この据付工事説明書を必ずお読みください。

1.安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

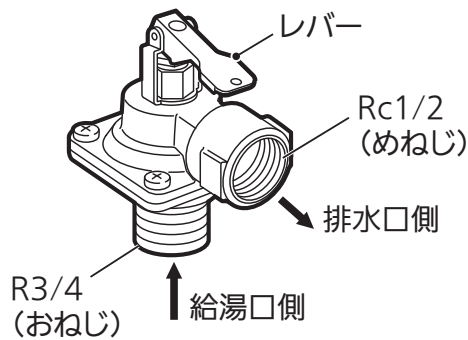
	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。		
	逃し弁のレバーは 固定しない (事故の原因)		電気温水器に使用する この製品は電気温水器専用です。 他の機器には使用しないでください。	
		注意		誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。
	工事作業中は手袋を着用する (着用しないとけがややけどの原因)			指示に従う

2.仕様

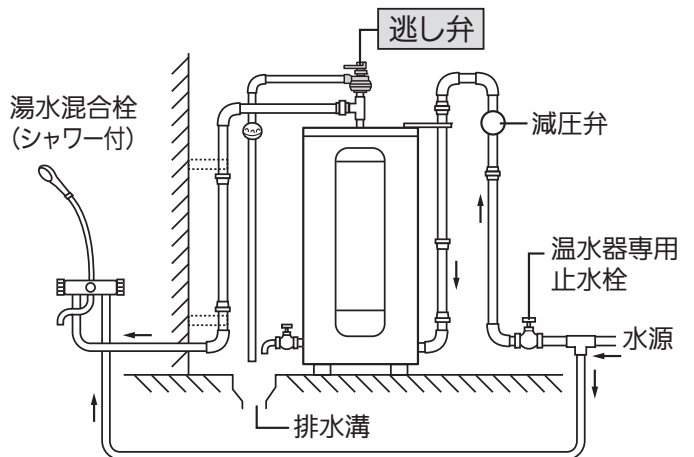
□ 径	給湯口側	R3/4
	排水口側	Rc1/2
設定圧力	吹き始め圧力	97kPa
	吹き止り圧力	92kPa以上
	吸気機構の開圧力	-12kPa以下

- JIS規格適合品

3.各部のなまえ



4.標準配管例



5.工事上のお願い

- この逃し弁の吹き始め圧力は、97kPaです。組み合わせる減圧弁は、必ず設定圧力が80kPaのものを使用してください。
- 流れ方向は、本体及び保温箱の矢印の向きに合わせてください。
- 逃し弁は、必ず減圧弁よりも高い位置に取り付けてください。
- 付属の保温箱は、保温工事の際、必ず保温筒としてご使用ください。
- 工事完了後の試運転時に逃し弁及び接続部分から水漏れがないことを確認してください。
- 逃し弁の日常点検について、機器で具体的に説明してください。

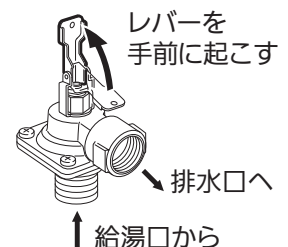
日常点検(1年に2~3回程度)

点検時に異常がある場合は、温水器専用止水栓を閉じ、漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店(販売店)へご連絡ください。
点検時は配管に手を触れないようご説明ください。

動作点検

逃し弁のレバーを手前に起こし、排水口から水(お湯)が出ることを確認する

- お湯が出れば正常ですので、レバーを元の位置に戻してください。



水漏れ点検

わき上げをしていないときに、排水口からお湯が出ていないかを確認する

- 水(お湯)が出ているときは、レバーを数回上下に動かしてください。

三菱電機株式会社

群馬製作所 〒370-0492 群馬県太田市岩松町800

T410Z021H42<2015-03>